

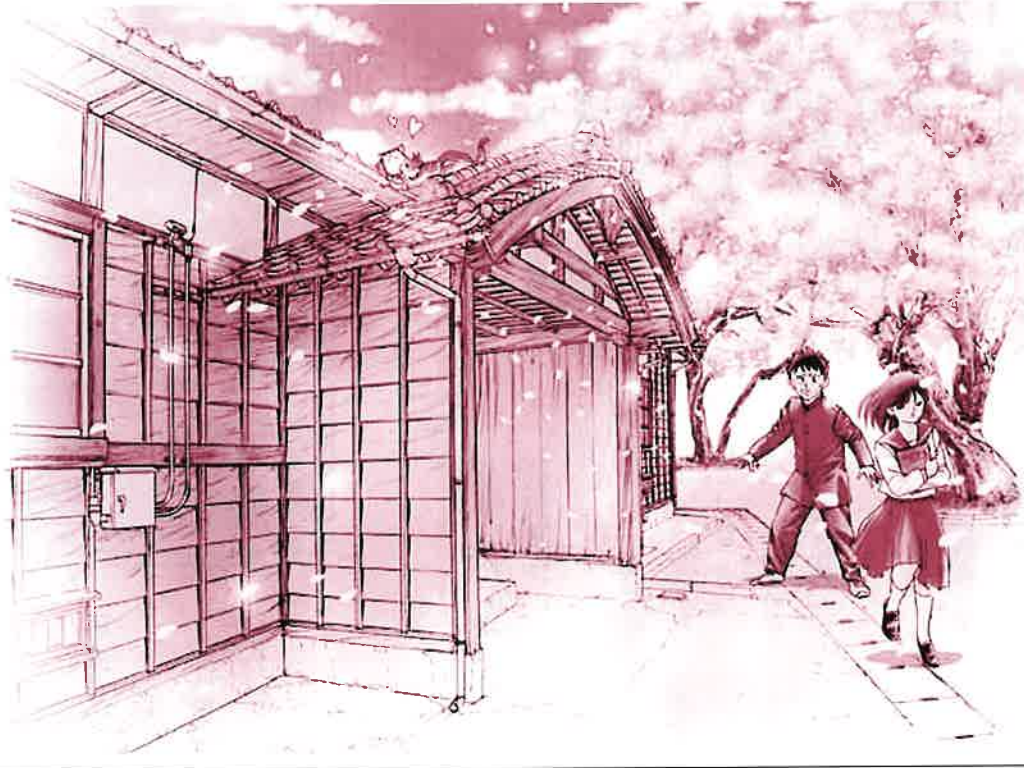


成東高校同窓会報

第9号

2019.3.31

発行：成東九十九同窓会
編集責任者：齊藤 功 (高22回)
印刷：(株)サラト



学校規模

生徒数 合計842名
男子446名(53%)
女子396名(47%)
クラス数 21クラス
(各学年7クラス)

卒業者数

合計 29,574名
旧制中学校卒 4,620名
併設中学校卒 545名
新制高等学校卒 24,409名
(平成31年3月1日現在)

表紙紹介

題名「三年 春」(本校のための書き下ろし連作)
作者 立原あゆみ氏(本名市川洋一氏 [高12回卒])。1970年『タブタブ』(集英社「週刊マーガレット」)でデビュー。代表作は『本気!』『JINGI 仁義』他多数。

新時代を迎えて



同窓会長

清水 新次
(高15回)

まもなく平成に代わる新しい元号の時代を迎えようとしています。

新しい時代をどのように迎えるかは、人によって様々だと思いますが、何か明るい夢、希望、目標を持って迎えたいものです。

日本社会の現状を見ると、少子・高齢化、人口減少、情報化、グローバル化などが急速に進み、また、国際的には、米中対立激化、保護主義の台頭など新しい時代も不透明で厳しい時代となりそうです。

このような時代に夢や希望、目標を持ち、明るく生き抜くために大きな支えとなるものは、「人と人との繋がり」であり、「絆の強さ」だと思います。そして、人との繋がり、絆を考える時、まず頭に浮かぶのは、文武両道・

質実剛健の校訓のもと、共に学び、悩み、遊んだ成高時代の懐かしい友や恩師の存在ではないでしょうか。そこで、会員の皆様(特に幹事の方々)におかれましては、新時代を迎える中で、改めて同窓会会員としての繋がり、絆を確認し、交流するための同窓会(クラス、学年、地域、職域など)を積極的に開催していただくことを期待しています。

成東九十九同窓会としましては、会員の皆様が新時代を生きる力の一助となるよう引き続き努力してまいります。

来年は、東京オリンピックが開催されますが、私達の成東高校が創立百二十周年を迎える記念すべき年になります。

新しい時代の中で創立百二十周年を迎える母校が更に大きく飛躍、発展できるよう皆で応援していこうではありませんか。

会員皆様の今後ますますの御健勝、御活躍を心からお祈り致します。

第113回

九十九同窓会
定期総会報告

幹事を大幅増員へ！

—定期総会が、去る平成30年8月5日(日)午前10時より、本校百周年記念館にて開催されました



校長
名取康雄 (高30回)

平成三十年度に着任しました校長の名取です。昭和五十三年の卒業以来で、平成三十一年度末まで本校で勤務いたします。この文が皆様の目に触れるのは、平成の御代から次の元号に変わった頃だと思えます。あと少しですが、母校の飛躍に向けて頑張ります。

おもてなしの心

現在の社会と同様に、成東高校は刻々と変化をしています。新教育課程、高大接続による大学入試改革、働き方改革と生徒・教師の両方に係わる大きなうねりに立ち向かっている状況です。成東高校という船が、生徒を希望の地へと導くことができるように、カリキュラムや部活動の在り方などを時代に合わせて変えてまいります。

生徒・教師が一体となってより良い成東高校の歴史を紡いでまいりますので、引き続き皆様の応援を願っています。

新校長あいさつ

(資料)

一、平成二九年度各支部

会務報告

二九年

八月六日 同窓会総会

九月一六日 東京九十九同窓会

一月二二日

千葉県庁九十九会

一二月九日 横芝九十九同窓会

三〇年

一月二〇日

千葉県警九十九同窓会

二、平成三〇・三一年度

同窓会役員一覧

会長 清水 新次 (高15回)

副会長 谷本 篤 (高13回)

副会長 布留川信行 (高20回)

副会長 眞壁 力 (高19回)

副会長 野山 敦子 (高35回)

副会長 前嶋 康夫 (高24回)

副会長 名取 康雄 (高30回)

幹事 金田 重興 (高15回)

幹事 里見 勇 (高16回)

幹事 内藤 光雄 (高21回)

監事 西川 泰雄 (高11回)

監事 岡村 新吉 (高11回)



- 一 開会挨拶 眞壁力副会長
- 二 清水新次同窓会会長挨拶
- 三 名取康雄校長挨拶
- 四 議事
 - (1) 会務・会計報告
 - (2) 監査報告
 - (3) 同窓会規約の改正について
 - (4) 会報の発行について
 - (5) その他
- 五 講演
醍醐勇司氏 (高28回)
- 六 閉会挨拶 眞壁力副会長

その後、地元山武市成東の「米作」に席を移し、懇親会を和気藹々と執り行いましたことをご報告申し上げます。



例年通り、八月第一日曜日午前一〇時に定期総会を開催いたしました。今年度は、高校第二八回卒業生の皆さんにご案内をいたしました。内容は左記の通りでした。

東日本大震災の対応と 危機管理のあり方



講師略歴

醍醐 勇司氏 (高28回)

早稲田大学法学部を卒業後、昭和57年に東京都庁に入都。危機管理監、病院経営本部長、水道局長など要職を歴任され、平成29年に退職。現在は、多摩都市モノレール㈱代表取締役社長をされている。

昨今、各所で災害が続いているように、いずれは必ず災害が来ます。そんな意味で七年前の東日本大震災を受けて、首都圏、特に東京においては大きな危機を迎えました。そのときの実務責任者の一人として、経験や教訓をお話しします。

一言で言えば、昨今の事情を考えると、「災害の発生は予想外ということはありません」という中で、我々はこれから生きていかなければなりません。

震災当日、都庁舎も大きく揺れました。エレベーターの停止、廊下の継ぎ目のきしみがありません。まずは、その対応に追われました。ようやく一段落したところ

で、職員を帰宅させようとしたのですが、その時にはJRが運行を停止していました。鉄道網が完全に麻痺してしまいました。駅構内やデパートから人が出され、新宿の広場には人が溜まり、その後続々と行き場を失った一般の方々が何百人と都庁に入ってきました。当然受け入れざるを得ないということを受け入れを開始しました。帰宅困難者で車も動かなくなり、物資もすぐに届かず、結局届いたのは明け方でした。

震災後、しばらくすると東北からも五千人以上の避難者がありました。都内で生活するため課題を調整することが求められました。避難が長期になると苦情や課題の調整に追われました。岩手・宮城・福島の被災三県にも現地事務所を設置し、被災認定や瓦礫の撤去などの作業にも日々、追われました。

東京都の水道に関しても放射性ヨウ素が百ベクレルを超えることがありました。百ベクレルという数値は、一歳未満の乳幼児が一年間常時飲み続けると発

がんの可能性があります。逆に言えば、常時飲まなければ発がん性は低くなります。都としては、当然この結果を発表することにしました。都民に不安を与えないように何度もシミュレーションをしたのですが、安全だと発表してもその日の夕方までに都内にあるスーパー、コンビニのミネラルウォーターが一斉になくなりました。東京の水はもう飲めないという噂が広まりましたね。その対応のため、乳幼児のためのペットボトルの水を至急調達しまして、乳幼児のいる家庭に一週間分、区や市町村を通じて配布しました。百ベクレルを超えたのは三月二十三日の一日だけで、東京の水は飲めるようになりましたが、この経験は忘れられません。災害発生から数ヶ月間は寝る間も惜しんで仕事をしました。同年七月からの危機管理監としての仕事も、都庁近くの災害対策用住宅に起居して自宅に帰ることはほとんどなく、精神的にも一番緊張したポストだったと思っています。

私なりの危機管理のあり方というものを申し上げます。これは、当時の東京消防庁の総監から言われたことですが、災害発生時を本番としますと、「本番では訓練以上のことはできない。訓練をしていなければ本番では何もできない。」まさにその通りで、いかに日頃の準備と訓練が大事であるかということだと思っています。そうはいっても災害というのは予測不能であります。災害は発生状況が少し変わるだけでも被害は大きく変わります。私は災害というのは生き物だと思っておりますので、訓練したような事態とは異なってきます。そのときどのような対応をするかということも日頃からの準備であるかと思えます。

最後に危機管理ということで、あさま山荘事件で指揮をとった佐々淳行さんが言った言葉なんです。「悲観的(周到)に準備をして、楽観的(柔軟)に対応する。」これが危機管理ということだと思えます。準備だけは常に抜かりなくしていただければと思います。

皆さん、お元気ですか？

今号から、同窓生の活動をご紹介するコーナーを設けました。近況報告からクラス同窓会のお誘いまで幅広くご活用願えれば幸いです。

掲載ご希望の方は、

メール：999narutou@gmail.com

電話：0475-82-3171(成東高校総務部同窓会報担当)

封書：千葉県山武市成東3596

千葉県立成東高等学校 同窓会報担当

までお寄せください。



豆本

下野 幸雄 (中45回)

豆本と云えば、子供の玩具かと思われるが、れっきとした大供のマイクロ・ブックである。

大きさは、親指と人指し指で形成される四角形の中に入る本が、一応その対象となる。

甘く見るなかれ、著者は超一流の作家、装幀は肉筆画装、総革装、宝石装など、一般書ではおよそ見ることもない瀟洒・華麗な限定少部数本である。

最初は場所を取らないと思っていたが、今では我が愛書館の相当スペースを占領している。



生涯現役

木島 里八

私は、中第40回生(昭和19年3月卒業。当時、敵性語として排撃されていた英語を五年間学び続けた最後の学年)の木島です。

同窓会もできなくなってからは、級友の消息は限られた賀状により往時を偲んでいます。

本校所蔵絵画、展覧会へ

本校応接室には、画家福沢一郎の絵画が展示してあります。彼は、1924年渡仏してシュルレアリスムに触れ、帰国後、国内の運動のリーダー的存在となりました。戦時中は共産主義者と疑われ拘禁される等、弾圧を受けますが、戦後、多摩美大・女子美大で教鞭を執るかたわら画作に取り組み、91年には文化勲章を受章しました。

本作は、成立年代や本校が入手するに至った経緯等、不明な点が少々ありますが、この度、生誕120年を記念して展覧会が開かれることとなり、本作品も展示される予定です。東京近辺在住の方は、ぜひ足をお運びください。またこの絵について情報をお持ちの方はご教示いただければ幸いです。

■東京国立近代美術館

■福沢一郎展

このどうしようもない世界を笑いとばせ

■2019年3月12日[火]～5月26日[日]

*休館日：月曜日

卒業生、漫画家デビュー！

小川慧さん(ペンネーム・高65回)が「月刊少年サンデー1月号」の「チーム・サンデー次世代ルーキー名鑑2019」で紹介されました。

2017年2月期 新世代サンデー賞の佳作となった『恒久サバイバル』でプロデビュー、昨年末にも読み切り作品の『未来攻略本』が誌上掲載されたところです。

「先輩方の大きな業績を目標に制作に取り組んでいます。」と語る、漫画界の新星にご声援を！



同窓会

あれこれ

母校を離れても
いまなお繋がる
人との絆は温い

横芝九十九会

横芝九十九会第五回総会が、平成三十年八月十八日(土)に横芝「丸七」にて行われました。議題として、内規改正・役員人事について、協議され、全会一致で承認されました。

その後、懇親会では、若い新会員と共に、世代を超えて、飲んで、語って、大いに盛り上がり、

楽しい一時を過ごすことができました。



鈴木会長

【事務局】

本田和夫(高30回)

TEL..

0479-82-6442

東京九十九同窓会

平成三十年九月八日(土)、日本工業倶楽部にて東京九十九同窓会の総会が開催されました。

この度の特別講演は、「スカイツリー建設に携わったの苦労と歓び」と題する、大林組元常務の八木和雄氏(高19回)によるお話でした。設計にあたり五重塔の建築様式を取り入れたことや、高さ六三四メートルの意味など、興味深い内容でした。また東日本大震災時に撮影した動画から、工事現場の緊迫した状況を追体験することができ、感動しました。

次回の東京九十九同窓会は、来たる九月七日(土) 正午より、日本工業倶楽部で開催する予定です。まだお出でになったことのない方々も、奮ってご参加ください。

【事務局】

八角浩之(高43回)

mobile..

0800-1077-7634

E-mail..

tokyotsukumo@yahoo.co.jp

県庁九十九会

平成三十年十一月十四日(水)、千葉県庁に隣接する「ホテルプラザ菜の花」にて、県庁OBでもある清水新次同窓会長、母校の名取康雄校長はじめ来賓をお迎えし、恒例の県庁九十九会総会及び懇親会が開催されました。

高24回卒業3年E組同窓会

平成三十年十二月一日(土)、昭和四十七年卒業の3年E組の顔ぶれが、山武市内の「米作」に集いました。

一刀幸男幹事の呼びかけでこの日に集まった参加者は二十二名、学級担任の三原照禮先生をお迎えして、和やかな談笑のひとときを楽しみました。

このクラスは三年に一度の集まりを継続しているとのこと。

千葉県警九十九会

平成三十一年一月十九日(土)、千葉市内の「三井ガーデンホテル」にて、清水新次同窓会長はじめ来賓の方々をお迎えして、恒例の千葉県警察九十九会の総会及び懇親会が開催されました。

卒業アルバム 欠損補充の お願い

本校の卒業アルバムは昭和三十五年頃から今の形となりました。その大部分は学校の図書館に保存されております。何冊か欠けておりましたが、同窓生の皆さんの御協力で、昭和三十五年以降は左記の三冊の欠損のみとなりました。つきましては、この三冊について学校図書館に御寄贈いただける方がいらっしゃいましたら、同窓会事務局まで御連絡ください。

欠損しているのは、昭和三十五年、昭和三十七年、昭和五十一年です。

活躍



「エド」



九十九祭で



九陵会本部役員



旧武道館正面



陸上部
(インターハイ出場 鈴木真央・陶山勝太)

母校の近況

想像力に磨きをかけて
マンパワー全開！

九十九本の桜
観櫻会

若さの爆発
九十九祭

自主と自治
九陵会



観測史上稀に見る早さで苔が
綻んだ昨春、四月の声も聞かぬ
うちに散り急いだ梢を見上げ、
観櫻会実行委員は溜息をつきま
した。
さりながら人間万事塞翁が馬、
観櫻会当日の四月七日(土)は八重
櫻が見頃を迎えていたのです。
校門辺りは開花の早い一重揃い
ですが、テニスコートから野球
場へと敷地を縁取るように佇む
遅咲きの八重が妍を競う様は、
さながら「奥の院」。その絢爛さ
に邂逅した参加者は嘆声を上げ
ていました。そしてこの多彩な
希少種が後輩を思う同窓生の御
厚意で植えられ今に至っている
ことも、本校の伝統の一つです。

昨年の「祭」は6月22日(金)〜23
日(土)、オープニングは体育館で。
クラスTシャツが鮮やかな客席
へ向けてのパフォーマンスは、演
奏ありダンスあり、コントもあつ
て笑いの渦に。
労を惜しまず制作した作品群
も、本番の瞬間に思いを込めたラ
イブ発表も、この夏に咲いた大輪
の花です。二つのお化け屋敷は甲
乙つけ難い怖さだと評判で長蛇
の列に。模擬店も仕込みに販売に
奮闘して、いい汗をかきました。
文化委員会も企画運営の合間
にペンキ塗りにいそしみ、美術部
のデザインで新調したアーチで
お客様を迎えることができました。

九陵会は新入生を迎え、気持ち
を新たに、新学期に臨んでいま
す。新入生は、成東高校の伝統行
事である、文化祭やロードレー
ス大会にも期待感を抱いているよ
うです。特に、成高生は来たる文
化祭を今か今かと待ちわびてい
ます。部活動においても、輝かし
い功績を残しています。運動部
は、陸上部が全国大会に出場する
など、複数の部活動で関東大会に
出場しています。文化部も、数々
の榮譽ある賞をいただしていま
す。これも、卒業生の皆様のご指
導、ご支援があつてこそです。今
後も九陵会は、さらに邁進してい
きます。

人生の羅針盤

落語家 という選択



古今亭菊輔

篠崎英範(高31回)

づもりの落研に入りました。

顧問は戸井策次先生。生徒を

「おめえら」と呼ぶ先生が多い

中、戸井先生の語り口は穏やか

でね。一つ上の先輩は男女一名

ずつで、風前のもし火になっ

てた落研の灯心みたいなあつた

かいお人柄でしたよ。私共の代

は七名ほど入ったもんで、賑や

かになりました。

週一回のラジオ番組の落語を

録音して、それで稽古。テーブ

の貸し借りなんかよくやってま

した。発表会は年に四回。柔道

場でお払い箱になった畳を事務

員室まで運んで隅っこに取っ

いて貰って、そいつを引つ張り

出してきて高座を作る。長机を

袖に見立ててね。やってること

が落語みたいでした。

二年生で部長になった時に、

「本物の寄席を成高でやりたい」

と、気運が盛り上がりました。

しかし先立つ物が無い。そこで先輩はじめあっちこっちへ手紙を書いた。「そんなことしても無駄だ」と云う人がいたけれど、戸井先生は「やるだけやってみよう」と、私たちの無茶を温かく見守ってくださった。もう一人、天願先生からのご助言も忘れられません。

で、送金してくれたんですよ！全部で十万円ほどになり、ともかく座布団だけは新調した高座へ、古今亭圓菊師匠をお迎えする運びとなりました。

土曜日の午後でした。みんなの尽力の甲斐あつて会場は満員御礼。そのお客さんがどつと笑った瞬間、胸が一杯になりました。できるだけの準備はしたけれど、どうなることかと、朝から生きた心地がしなかつたから。その笑い声で我に返って、やつとトイレに行けて、長〜い小用を足しました。それまでの苦勞を水に流したんですね。

これが人生の転機になりました。どうなるかわからないけど、どうしてもやりたいことに夢中になって、沢山の人に支えられて、最高の瞬間を味わって……。のちに入門したのも、この時の圓菊師匠です。

ささやかながら、小生青雲の志の一席でございました。

進路

国公立大学		
大学名	新卒	浪人
北海道大		1
北教大旭川校		1
岩手大	1	
茨城大	11	1
宇都宮大		1
埼玉大	2	1
千葉大	21	2
東京学芸大		1
東京工業大		1
新潟大	1	
信州大	2	
静岡大	1	2
広島大		
高知大	1	1
千葉保健医療大	4	
都留文科大	1	
名桜大	1	
国公立大学合計	47	12

私立大学		
大学名	新卒	浪人
国際医療福祉大	12	1
城西大	2	
獨協大	3	
文教大	1	1
明海大	4	
神田外語大	17	1
敬愛大	3	
淑徳大	6	2
城西国際大	14	
千葉工大	29	5
中央学院大	2	
帝京平成大	4	1
東京情報大	11	1
麗澤大	2	
和洋女子大	12	1
千葉科学大	2	
植草学園大	2	
青山学院大	1	
亜細亜大	3	2
桜美林大	2	
大妻女子大	1	
学習院大	3	1
北里大	2	
共立女子大	7	2
杏林大	2	1
慶応大		1
工学院大		1
国学院大	13	

国士舘大	10	4
駒澤大	11	2
実践女子大	3	
芝浦工大	3	2
順天堂大	3	1
昭和女子大	1	
杉野服飾大	4	
成蹊大	4	
専修大	9	2
大正大	5	4
大東文化大	2	
拓殖大	2	
玉川大	5	
多摩美大	1	
中央大	7	2
帝京大	4	1
東海大	3	
東京医大		1
東京音大		1
東京家政大	3	2
東京工科大	3	
東京女子大	1	
東京電機大	2	4
東京農大	6	
東京薬大	6	
東京理大	9	2
東邦大	28	6
東洋大	32	5
二松学舎大	1	1
日本大	41	10

日本獣医生命大	1	1
日本女子大	4	
日赤看護大	1	
文化学園大	4	
法政大	22	6
星薬大	1	
武蔵大	4	
東京都市大	4	
武蔵野大	14	
武蔵野美大	2	
明治大	12	5
明治学院大	3	2
明星大	3	
立教大	5	1
立正大	6	3
早稲田大	5	
神奈川大		1
洗足学園音大	2	
東洋英和女学大	2	
その他	14	8
私立大学合計	478	98

	新卒	浪人
短期大学	1	1

	新卒	浪人
専門学校	10	

	新卒	浪人
公務員	5	

この数値は、平成30年3月末に集計したものです。最新の数値は、本校公式ホームページをご覧ください。

信頼の道

言葉は温かい。言葉は強い。
先輩と後輩がそれぞれの想いを語る往復書簡。

先輩から

合格おめでとう！ 大学では大なり小なり、環境の変化が起きました。その中で特に驚いたものについて取り上げたいと思います。

高校生のときは後輩と話したいと思っても、話題が思い付かず、緊張して話せませんでした。でも、大学2年でジャズ研に入ったとき、入った年度が学年となり、自分は「1年生」、1年生は「同級生」となりました。バンドを組んだ1年生がハナからタメ口で話して来たときは、驚き、イライラし、戸惑い、入って早々続けられるかと思いましたが、後輩が自分を「同級生」



千葉大学薬学部3年
萩原 健太
(理数43回・高68回)

として沢山話しかけてくれて、そもそも話題がない会話もあるし、自分も後輩のことは「同級生」だと思つて話せばいいと気づき、大抵はノリで話したり、好きな音楽や馬鹿な話をし、ときには学問や世界の話をしているうちに、気兼ねなく話せるようになりました。

大学ではすぐには認められない嫌なこともあるかもしれませんが、頭と態度を柔らかくして、楽しんで乗り切ってください。

後輩から

先輩方のご卒業されてから早くも一年が経ち、私たちが成東高校を巣立つ日も間近になりました。

思い起こせば、めまぐるしく過ぎていった成東高校での日々は、私にとって非常に有意義なものでした。また、学業のみな



3年B組
飯島 あす香
北里大学薬学部に合格

らず、多くの貴重な発見をする機会を与えてくれた場でもありました。常に高みを目指し、努力を怠らず、何事にも真剣に取り組む生徒が多く、たくさんの方の刺激を受け、成長しました。また、行事の際には仲間と共に全力で楽しみ、一生心に残る思い出を築き上げることが出来ました。

先日のセンター試験を終え、私たちは今、夢を実現するための第一ステージに立っています。今後は、さらなる目標を定め、理想の実現のために、日々邁進していきたいと思っています。先輩方にとってこの一年間はどのようなものでしたか。新しい出会いや発見の中で、多くのものを得た年になったのではないのでしょうか。

書籍寄贈の御紹介

今年度も蔵書の御寄贈をいただきました。御紹介をもって御礼に替えさせていただきます。誠にありがとうございます。

○真野孝夫氏

(旧職員 昭44〜48)

・丸山真男著『戦中と戦後の間』

みすず書房、1976

・丸谷才一著『新々百人一首』

新潮社、1999

○高根 宏氏(高13回)

さまざまに分野に亘る多数の書籍を御寄贈いただきました。

※蔵書等を御寄贈くださる際には、あらかじめ同窓会事務局(0475-1821317)まで御連絡いただければ幸いです。

編集後記

第九号をお届けします。会員諸氏をご覧になる時は、春爛漫のきざしが見え出す頃かと存じます。

蕪村の言葉に「もろこしの詩客は千金の宵を惜しみ、我朝の歌人は紫の曙を賞す」とあります。本会報も春風駘蕩のごとく、紙面のレイアウトを変更し、編集に新たに伊藤清美さんが加わりました。ご感想などお聞かせ頂けたら、有り難く存じます。会報発行の趣旨は、「老いも若きも」の世代間交流にあります。「同窓生の近況」では、九十九里町片貝の木島里八氏より「英語の成中」を頒かせる一文を頂きました。

本会報は、会員諸氏のご芳志により発行できています。何卒よろしく願います。(汀魚)

編集責任者

齊藤 功 (高22回)

編集委員

田井中善夫

(理数1回・高26回)

伊藤 清美 (高32回)

多田 達子 (高35回)

鷹塚 宏愉 (高58回)

